



令和8年度の雪対策の取組について

1 除排雪事業の業務体制 ～持続可能な除排雪体制の構築～

《担い手不足等の課題や働き方改革に対応した安全で合理的な業務体制の構築》

(1) 除雪センター機能の集約と充実

- ・4地区4除雪センター（中央地区、神楽地区、北星地区、永山地区）の集約試行を継続
- ・スケールメリットによる運営体制の効率化を図り、管理機能や改善要望の窓口の集約、速やかな応援体制の確保など本格運用に向け検証

(2) 除雪DXの推進

- ・業務の効率化に向け、市街地定点観測地に積雪センサー・カメラ等を1箇所増設し計14箇所で運用

(3) 除排雪作業における安全性向上の強化

- ・官貸除雪グレーダ13台に後方人感センサーを設置
- ・交通誘導警備員の配置強化や作業範囲の明確化による現場管理の強化を継続

2 路面管理対策 ～本市の実態に即した適切な路面管理手法の強化～

《近年の温暖化傾向など気候変動を踏まえた対応》

(1) 極端な気象状況に対する路面管理対策

- ・長期予報などを踏まえ、様々な気象状況下における昨年度の取組を継続し検証
 - 【予防的対応】：気象状況に応じて初冬期の圧雪を取り除く雪割作業の実施
 - 【計画的対応】：雪割作業後の排雪作業前倒しの実施
 - 【情報発信】：作業状況の発信、道路幅員の狭小化や雪の置き方に対する周知強化

(2) 生活道路の排雪強化

- ・気象状況や路面状況に即した排雪の実施

除排雪及び雪対策に関する市民アンケート結果（速報）

●調査期間：令和8年6月17日～7月17日

回答数：4,360件（うちA回答数2,481件、B回答数1,879件）

A「除排雪に関する市民アンケート」（例年実施）

目的：除排雪事業における令和7年度の評価や市民ニーズの把握

対象：一般市民

調査方法：広報・HP・SNS掲載などで周知し、専用フォームまたは紙により回答

B「雪対策に関する市民アンケート」

目的：次期基本計画の策定に向け、雪対策の課題への対応や今後の冬期生活のあり方など市民意見の聴取

対象：無作為に選んだ市民3,000人及び地区除雪連絡協議会会員（町内会長等）

調査方法：アンケート調査票を郵送し、専用フォームまたは紙により回答

主な内容（抜粋）	R6調査 [R5評価]	R7調査 [R6評価]	R8調査 [R7評価]
幹線道路の除雪についてどう思うか〔良い・おおむね良い〕	33%	52%	57%↗
生活道路の除雪についてどう思うか〔良い・おおむね良い〕	16%	28%	35%↗
交差点の見通しについてどう思うか〔良い・おおむね良い〕	10%	19%	19%→
除雪状況を総合的に見てどう思うか〔満足・だいたい満足〕	11%	20%	25%↗